



梅雨明けに関するお知らせ

令和5年7月22日
甲府地方気象台

(見出し)

気象庁は、本日(7月22日)「関東甲信地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

(本文)

関東甲信地方は、太平洋高気圧に覆われて晴れや曇りとなっています。向こう一週間は、山沿いや内陸部を中心に一時的に雨の降る所がありますが、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、関東甲信地方は、7月22日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(注意事項)

梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、今回お知らせした期日が変更となる場合があります。

(参考資料)

平年の梅雨明けは7月19日ごろです。

昨年の梅雨明けは7月23日ごろでした。今年の梅雨入りは6月8日ごろでした。

6月8日から7月21日までの降水量は次のとおりです(速報値)。

(カッコ内は6月8日から7月21日までの降水量平年比)

平年値の統計期間：1991年～2020年

気象官署 特別地域気象観測所	甲 府	159.0 ミリ (79%)		
	河口湖	138.5 ミリ (54%)		
アメダス観測所	大 泉	259.5 ミリ (110%)	富士川	150.5 ミリ (73%)
	乙女湖	247.0 ミリ (85%)	古 関	143.5 ミリ (57%)
	韮 崎	146.0 ミリ (66%)	切 石	159.5 ミリ (61%)
	勝 沼	143.0 ミリ (73%)	山 中	176.5 ミリ (51%)
	大 月	135.0 ミリ (56%)	南 部	201.5 ミリ (47%)
	上野原	140.0 ミリ		

上野原には平年値がありません。

本件の問合せ先：甲府地方気象台
(TEL 055-222-9101)